

委員会だより

医療費適正化委員会

当委員会は診療報酬請求における適正な請求方法と査定傾向と対策を協議することを目的としています。

平成7年度からは毎月定期的を開催しており、請求漏れ、査定防止対策に努めておりますが、医療費の抑制など厳しい状況の中における査定率0.2%以下という目標を達成するのはなかなか難しいのが現状です。

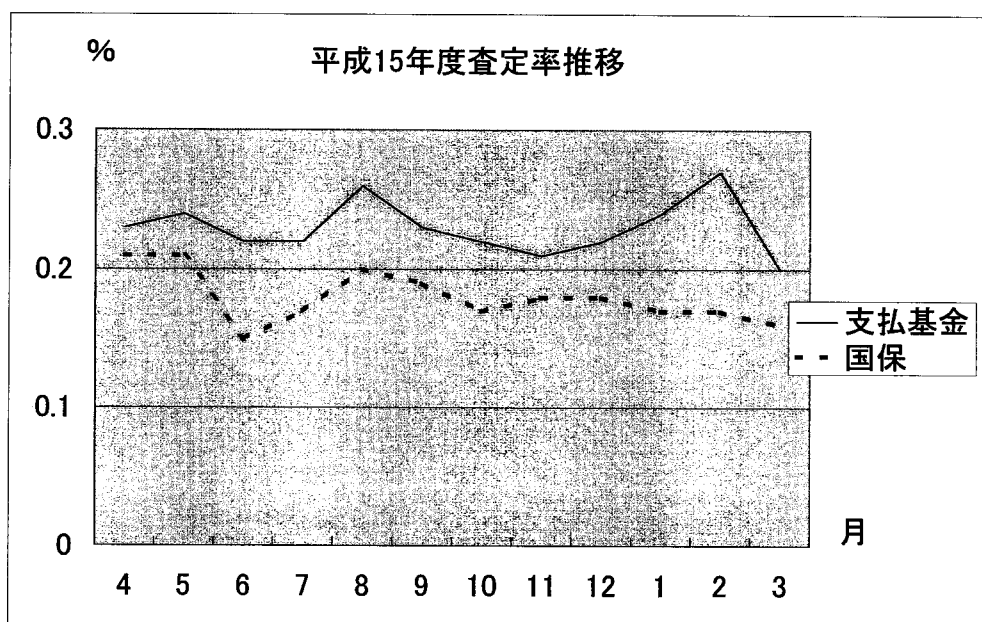
平成15年度の査定率の推移をグラフにして下図に示しました。

今年度は、科別の査定率も割り出し、医師と医事課担当者が連携を密にして病院の運営資金の源であるレセプトの適正な保険請求がなされたか、また請求もれがないかを協議しています。さらに北海道診療報酬支払基金・北海道国民健康保険団体連合会から通知された査定・返戻を具体的に検討、研究、対策をたて、再審査請求等も積極的に行っております。これらの成果は基本である発生源入力時に生かし適正な保険請求に努めていきたいと考えております。

今年度も委員会としてはこれらの活動を積極的に進め適正な保険請求に心掛け病院経営に寄与していきます。

委員長 関谷 千尋
副委員長 梶原 陵子
委員 荒川美和子、檜山 繁美、吉川 裕幸、三橋 公美、宇加江 進、堀田 大介、大西 勝憲、安田 卓二、高岡 和夫、小野 百合、竹林 武宏、笠茂 光範、松岡 伸一、塩谷 勉、黒田 努、西江 渉、青柳麻衣子、藤井 厚子、亀田すみ子、佐々木まり子、小嶋 裕美、伊藤 律子、井上 正俊、竹本 功、佐々木智子、相川 修二、田附 満、斉藤 修一、遠藤 裕明、長尾 真人（書記）、三上 優子、福田真由美、木田 勝也

（文責：梶原 陵子）



TQM 委員会

この委員会は、名称のように (Total・Quality・Management) 医療の質を高める目的で活動しています。活動方法は、①外来②入院③健診センター④死亡症例検討⑤クレーム対応の5つの小委員会を置いて、アンケート調査を実施し結果をまとめ関係部署に報告。また、ご意見箱・看護相談・電話・手紙などの意見については、毎週1回クレーム小委員会で検討し関係所属長と話し合ったり、内容によっては組織的に解決方法を検討し運営会議で報告しています。

委員会は、2～3ヶ月に一度開催、各小委員会の進捗状況の報告について意見交換をしながら進めています。

今年度は、職員研修で「外来満足度調査の結果から」と題して、各部署から発表してもらい自己を振

り返る機会としました。

16年度は、病院機能評価再受審の年でもあり、委員会の名にふさわしい活動をしていきたいと思っています。ご協力のほど宜しくお願いいたします

委員長 荒川美和子

委員 井上 正俊、松岡 伸一、小野 百合、高橋 秀史、竹本 功、佐々木智子、藪野 孝、晃昇とも子、藤井 厚子、佐々木まり子、村上 牧子、曲木 光子、小熊佐智子、遠藤 裕明、江口 精一、長野 雅子 (書記)、

木田 勝也、山崎 淑子、吉川 晶代

顧問 秦 温信、関谷 千尋

(文責：荒川美和子)

平成15年度 第5回 (通算16回) 札幌社会保険総合病院 職員研修会

つぎのとおり開催しますので多数参加願います。

日時 平成15年10月1日(水) 17時30分～18時30分

場所 札幌社会保険総合病院 講義室

司会 TQM委員会委員長 荒川 美和子

研修内容

『外来満足度調査の結果から』

— 問題点と対策 —

<発表部署>

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 看護局 接遇の現状と対策
— 気配り・目配り～そして 心配り— | 看護局 紺野 由実 |
| 2. 満足度100%をめざして | 検査部 出村不三夫 |
| 3. 患者さんのハートの透視診断
— 診療放射線技師について解答のあった
586件の傾向と対策について— | 放射線部 藪野 孝 |
| 4. 「マナー」アンケート調査結果の患者様の声を基に | 事務局 江口美恵子 |
| 5. 医師に関する患者満足度アンケート調査の結果 | 医務局 小野 百合 |
| 6. まとめ
総合評価結果 — 前回調査から6～16%アップ— | TQM外来小委員会 藤井 厚子 |

《主催：札幌社会保険総合病院 TQM委員会 教育研修委員会》

検査部運営委員会

5月2日、平成15年度の第一回検査部運営委員会が開催され、運営推進会議の内容、オーダーリングの運用変更(医師の変更・削除の権限をはずす)、耳鼻科での聴力検査の状況などが報告・検討された。8月には、血液製剤の遡及調査問題が大きな問題となった。11月には、申込書を使用した検査(病理、生理、輸血)についての安全管理委員会からの問い合わせ依頼があり、オーダーリングは必ずしも安全管理上の問題解決に繋がるとは言えないとの検討結果を報告した。ダブルチェックができないことについては患者基本情報の血液型をハードコピーすることを提案した。2月には、遡及調査について報告、輸血マニュアルの改訂、検査機器トラブル時の対応マニュアルの整備、健診センター

とのシステム連携、小児科からの新規依頼検査などについて検討された。振り返ると、院内のみならず院外からも検査部の運営に関する課題が提出され、地道ではあるが一步一步づつ歩んだ一年であった。

委員長 関谷 千尋
副委員長 高橋 秀史
委員 荒川美和子、檜山 繁美、大西 勝憲、高岡 和夫、宇加江 進、新庄 一、佐々木智子、出村不三夫、前島澄子(書記)、晃昇とも子、藤井厚子、佐々木まり子、村上 牧子、野田 勝之、梶原 陵子、福田真由美、吉川 晶代

(文責：高橋 秀史)

安全管理委員会

より安全な医療をめざして当院の各部署より任命された委員が隔週集まり会議を開いてきました。院内の組織として安全管理部が発足し、当委員会の活動を機構的に支える大きな力となりました。安全管理に関する諸問題はいたるところにその芽が潜んでおり、いくら検討しても十分いえる領域には達し得ない印象です。各委員が持ち回りで担当し月一回発行しているMSMニュースには、全病院的に行われる対策や医療安全に関する情報が載せられています。

今年度は4月に「より安全な医療をめざして」の主題で職員研修会が開催され、10月に新さっぽろ医療安全推進協議会設立記念講演会として堀江洋三厚別区支部長の司会で当院佐野文男院長の講演「地域に拡げる医療安全」が行われました。また、11月には「当院のインシデント・アクシデントレポートの分析とその対応」という主題で医療安全推進週間研修会が開催されました。

今年度の学会活動として主なものは、第53回日本病院学会に「医療安全対策の効果と今後の改善点」(内山佳子委員)、第41回日本社会保険医学会総会には「転倒・転落アセスメントスコアシートの有用性

と問題点」(永井由美子委員)、「医療機器に関する安全管理の検討」(真下泰委員)などがあります。

様々な院外活動のうち主なものとしては、全国規模で広く情報を収集し対策を検討するNDPの活動に当委員会も積極的に参加しています。また、札幌市医師会厚別区支部の活動の一部として新札幌医療安全推進協議会が発足し、その活動に全面的に協力しています。

本稿に紹介しきれない多くの活動が今年度も行われてきました。これらは各委員の努力の賜物であり、職員の皆様のご協力に支えられたものと深く感謝いたします。

委員長 竹林 武宏
副委員長 堀田 大介
委員 笠茂 光範、佐藤 恵、浅野 尚、渡辺 稔、松村 俊也、小松 信隆、真下 泰、永井由美子、村上 牧子、小泉由貴美、木村 眞子、内山 佳子、長野 雅子、三上 優子、藤堂 彰子
顧問 秦 温信

(文責：竹林 武宏)

安全衛生委員会

安全衛生委員会は、病院内における感染、衛生等に関する各種危険を未然に回避し、患者、職員、その他の病院に出入りする関係者の安全衛生を守ることを使命とします。

安全衛生委員会および安全衛生小委員会（感染対策小委員会）は毎月の定例委員会で、次の内容の活動をしています。

1. 院内感染サーベイランス:病棟におけるMRSA, 緑膿菌, 結核, ウイルス, 等の発生を調査し、院内感染を予防する。
2. 厚生労働省の院内感染サーベイランス:厚生労働省の敗血症, 髄膜炎症例に関する全国調査に協力する。
3. 厨房の細菌検査:厨房の器具等の食中毒菌発生の有無を毎月調査する。
4. 針刺し事故:職員の針刺し事故を調査し、予防策を検討する。事故発生時は、HB, HCV, AIDS, 梅毒感染のマニュアルに従って対応する。
5. 井水(冷却水, トイレ排水):2ヶ月に1度レジオネラ菌の有無を調べる。
6. 感染性廃棄物(100L, 70L, 25L, 10L 容器)につきプラスチック容器, ダンボール箱, 総重量を、非感染性廃棄物(10L 容器)についてはアルコール, キシレン, ホルマリン, 塩酸含有液の排出量を毎月調べ、適切な医療廃棄が行われるよう指導する。
7. 感染対策マニュアル:針刺し事故対策、開放性結核発症時対策、職員採用時ツツ反、INH 予

防内服、職員食中毒発生時、SARS 対策マニュアル等の作成・整備を進める。

8. 職員の院内感染予防対策に関し、病院健康管理医に協力する。
9. その他、安全衛生に関する諸問題につき、適宜、小委員会にて対応する。

今年も不注意による針刺し事故が多数発生しました。もう少しの注意で未然に防ぐ事が出来た事故も少なからずありました。現在、誤刺防止機能付の穿刺針を選定していますが、全ての針を変えることは出来ません。誤刺予防には、結局は各自の自覚が最も重要です。ウイルスやスピロヘータをもらうと治療薬の副作用という大変なおまけが着いて来るかもしれません。一言:ウイルスのたたりにおまけなんまいだ。

委員長 高岡 和夫

副委員長 宇加江 進

委員 大西 勝憲、小野 百合、高橋 秀史、
笠茂 光範、吉川 裕幸、塩谷 勉、
安田 卓二、伊藤 東一、新庄 一、
保谷 俊行、相川 修二、
晃昇とも子(書記)、
藤井厚子、亀田すみ子、佐々木まり子、
本山 博恵、村上 牧子、小嶋 裕美、
尾田 和子、伊藤 律子、小泉由貴美、
木村 眞子、江口 精一、山谷 修司、
梶原 陵子

顧問 秦 温信、関谷 千尋

(文責:高岡 和夫)

診療委員会

診療委員会は9つの小委員会で構成されており、「診療録小委員会」は定点観測およびベンチマーク調査へ対応するため診療情報入力票を継続して行う。「医療事務小委員会」は医事課内カウンターの変更、厚手カルテサマリー書きの徹底。「クリニカルパス小委員会」は105件作成（H15.6現在）されており、バリエーションの報告と理由を明確にする。「情報開示小委員会」は特にトラブルなく51件の開示（H15.10現在）の報告がされております。「ストーマ・褥瘡小委員会」は予定していた職員研修～褥瘡の予防と治療～を10月に開催することが出来ました。他「紹介率推進小委員会」「ICU小委員会」「緩和医療小委員会」「外来化学療法小委員会」もそれぞれ必要に応じて委員会を積極的に開催し活動しております。

委員長 秦 温信
副委員長 関谷 千尋、荒川美和子、井上 正俊、
委 員 檜山 繁美、三橋 公美、大西 勝憲、
高岡 和夫、高橋 秀史、堀田 大介、
安田 卓二、竹林 武宏、笠茂 光範、
松岡 伸一、吉川 裕幸、小野 百合、
宇加江 進、黒田 努、青柳麻衣子、
西江 渉、塩谷 勉、竹本 功、
晃昇とも子、藤井 厚子、亀田すみ子、
本山 博恵、伊藤 律子、小泉由貴美、
斉藤 修一、遠藤 裕明、
梶原 陵子（書記）

（文責：梶原 陵子）

薬事委員会

薬事委員会は月1回定期的に開催されています。本委員会で審議する内容は、新規採用薬およびそれに伴う削除薬の決定、臨時採用薬使用およびその継続使用の可否の決定が中心となっています。ほかに、2月に1回の割合で開催されるDIミーティングの計画、削除が決定した薬剤の在庫状況の公表、薬剤の最新情報のアナウンスなどを行っています。また、臨時採用薬が購入され、使用されずに残ってしまっている状況を把握するため、臨時採用薬の在庫状況も適宜公表しています。また、最近では、DPCの実施に伴い、より安価で安全かつ安定した供給が可能な後発薬品への変更の検討を順次施行中です。

以上、今年度の薬事委員会の活動状況を報告しました。今後も皆様の御理解、御協力を宜しくお願い

します。
委員長 松岡 伸一
副委員長 小野 百合
委 員 大西 勝憲、高岡 和夫、笠茂 光範、
西江 渉、宇加江 進、塩谷 勉、
安田 卓二、尾形 仁子、黒田 努、
青柳麻衣子、竹本 功、志賀 隆博、
竹内 美奈（書記）、荒川美和子、
亀田すみ子、南出 弘美、横山 純子、
加藤 直、山谷 修司、江口美恵子、
佐藤 正幸
顧問 秦 温信、関谷 千尋

（文責：松岡 伸一）

サービス部運営委員会

サービス部運営委員会は、病院内のレストラン、売店および理髪店の運営に関する検討を目的に平成11年11月1日に設置されております。サービス部の業務は、上記のほかに病室の貸しテレビ、飲料水の自動販売機や駐車料金の管理など来院される方と職員のためのサービスを行っています。

経営収支は、一般の病院特別会計とは分離され、独立採算を基本としています。

当委員会は、サービス部業務の経営の効率化やサービス向上に向けて様々な検討を行っており、今年度は3回開催されました。

議題は、14年度収支が赤字決算となったため、主に経営改善の協議がされました。その対策として、売店の営業時間の延長、昼食の出前、患者サービスの拡大として病棟への訪問販売（ワゴンサービス）

の開始、わかりやすい案内板の設置などが協議され、実行に移されました。

経営の効率化と患者サービスの向上を両立させながらの営業は厳しいものがあり、より一層の努力が求められております。

委員長 井上 正俊

副委員長 加藤 猛

委員 小野 百合、吉川 裕幸、増村 修、
浅野 尚、松崎 純子、晃昇とも子、
浜田 直子、遠藤寿美恵、小熊佐智子、
野田 勝之、松田 實、加藤 直、
江口美恵子、安達 智里

顧問 関谷 千尋、荒川美和子

(文責：井上 正俊)

医療ガス安全管理委員会

当委員会は、医療ガスの設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する目的に平成2年6月1日に設置されております。

この委員会は、医療法等にも設置を義務づけられており、安全かつ円滑に医療ガスを供給することにより大きく診療活動に付与できるように、また、医療ガスの保安に関する自主的な活動を促進できるように審議しております。

今年度は、1回開催され、医療ガスの使用量、管

理状況について協議を行ったほか、笑気ガスについて、通常使用していない場所については安全管理の面からバルブを閉止することとしました。

委員長 井上 正俊

副委員長 長谷川力男

委員 塩谷 勉、高岡 和夫、竹本 功、
真下 泰、荒川美和子、野田 勝之、
細野 勝男

(文責：井上 正俊)

保安部運営委員会

保安部運営委員会は、病院の施設管理、防災、保安および中央監視（室）業務の運営に関する検討を行うことを目的に平成11年12月1日に設置されております。院内に必要なエネルギー供給設備（電気、ガス、蒸気、高温水、給排水、医療ガス、重油等）

の運転管理、保安点検等業務を中央監視室で行っていますが、院内外の防犯に関しても受け持っており、今年度の委員会は1回開催されておりますが、盗難対策や暴力行為等に対する対処方法のマニュアルなどの作成も行いました。

委員長	井上 正俊	野田 勝之、齊藤 修一、小北 健一、
副委員長	長谷川力男	渡部 昭男、松井 寛之
委員	安田 卓二、新庄 一、加藤 信博、	顧問 秦 温信
	関 均、真下 泰、晃昇とも子、	(文責：井上 正俊)
	本山 博恵、小嶋 裕美、尾田 和子、	

治験委員会

治験委員会は関谷副院長を顧問に北海道大学和田龍彦教授を外部委嘱委員に迎え奇数月に開催されております。主な活動は以下のとおりです。

(1) 治験第Ⅳ相試験

薬が医療現場で多数の患者さんに使用された場合、市販前の治験で収集された副作用が実際に増加するかどうか、また市販前には経験されなかった副作用があらたに出現しないかどうかの調査が必要です。このように新しい薬の副作用および治療効果について全国調査するのがこの第Ⅳ相試験の目的です。当委員会ではこの治験の妥当性について検討しております。

(2) 治験第Ⅱ、Ⅲ相試験

薬として期待される候補が発見された場合、専門医のいる医療機関で少数の患者さんに実際に使ってもらいます。そしてその効果と副作用を調査し、保険薬として認可するかどうかの重要な基礎資料を集めるのが治験第Ⅱ、Ⅲ相試験の目的です。当委員会では治験を開始するにあたり、治験の進め方に問題がないか、また患者さんに不利益がないかどうかを審議し、必要に応じて種々のアドバイスを治験責任医師におこなっております。

(3) 治験開始後の重篤な副作用報告、変更事項報告および終了報告とその審議

治験を開始した後に発生した重篤な副作用や病院内外の治験組織の変更点などの報告がなされ、必要に応じて患者さんに情報を提供する必要があります。当委員会ではこの点に関して審議いたします。また

治験を開始して1年を経過した時点での経過報告および治験を終了した時には終了報告を委員会でおこない総括をいたします。

(4) クリニカル・リサーチ・コーディネーター (CRC) 活動

治験第Ⅱ、Ⅲ相試験は厚生労働省に薬として認可される前におこなう治験であるために、患者さんの同意を含め、その手続きはとても煩雑で患者さんには内容が複雑で理解しづらくなっております。このため CRC が治験責任医師協力して患者さんに説明をおこなう他、製薬会社によるモニタリングへの協力、治験報告書の作成補助などの業務をおこなったりします。当委員会では CRC 活動を積極的に推進しており、治験ができるだけ円滑に進行するように活動しております。

(5) その他

患者さんが理解しやすいように工夫された治験に関するパンフレットなどを発行しております。

委員長	大西 勝憲
副委員長	竹本 功
委員	荒川美和子、高岡 和夫、小野 百合、高橋 秀史、松岡 伸一、堀田 大介、福田由布子（書記）、藤井 厚子、亀田すみ子、本山 博恵、横山 純子、野田 勝之、遠藤 裕明、新津 英俊、
顧問	秦 温信
外部委嘱	和田 龍彦（北海道大学）

(文責：大西 勝憲)

倫理委員会

当委員会は、札幌社会保険総合病院に所属する職員が行う研究、医療行為について倫理的な観点から審議しており、院外学識者、弁護士の方々を委員に迎え、活動しております。平成15年度は次の研究を行うのに際して審議されました。

- 1) SMBG ユーザビリティアンケート調査について (内科・糖尿病)
- 2) 腎尿細管機能異常症の遺伝子解析 (内科・糖尿病)
- 3) 高血圧症患者におけるプラバスタチンの糖尿病発症抑制作用の検討 (循環器科)
- 4) アンチトロンビン3 (ATⅢ) 異常症に関する遺伝子研究 (呼吸器科)
- 5) 咽喉頭異常感症に対するPPIの有効性の検討

(耳鼻咽喉科)

- 6) Wolfram 症候群の遺伝子解析 (内科・糖尿病)
- 7) 手術不能または術後再発大腸癌に対するイリノテカリン (CPT-+-) + Tegafur・Gimestat・Otastatpotassium 配合剤 (S-1) 併用療法のPLOT試験 (循環器科)

委員長 秦 温信
副委員長 関谷 千尋
委員 大西 勝憲、高橋 秀史、竹本 功、
荒川美和子、晃昇とも子、井上 正俊、
遠藤 裕明 (書記)
外部囑託 和田 龍彦 (北海道大学)
桶谷 治 (弁護士)

(文責：遠藤 裕明)

医療器材委員会

当委員会は、新規および更新の『医療用器材と20万円以上の医療機器等』を対象に、器材を適性かつ公正に選定するために設立された病院長の諮問機関で、下部に『医療器材小委員会』(委員長：高岡和夫)と『器材選定小委員会』(委員長：竹林武宏)を設け、診療材料と医療機器のより専門的な検討に取り組んでいます。

平成15年度整備済み医療機器 (百万以上) は、以下のとおりである。

デジタルホルター記録器・関節鏡シェイパー
麻酔器およびモニターシステム
電子内視鏡システム・透析装置
超音波診断装置・耳鼻科用レーザー

内視鏡外科手術システム・セルアナリシステム
呼気終末測定器・滅菌コンテナ
自動封入装置・散薬監査システム

委員長 秦 温信
副委員長 高岡和夫、竹林 武宏
委員 桧山 繁美、三橋 公美、松岡 伸一、
吉川 裕幸、竹本 功、浅野 尚、
真下 泰、藤井 厚子、浜田 直子、
小嶋 裕美、尾田 和子、小泉由貴美、
嶋宮美野子、晃昇とも子、木村 眞子、
野田 勝之、吉川 晶代、山谷 修司
顧問 関谷 千尋、荒川 美和子

(文責：山谷 修司)

経営委員会

当委員会は、病院の健全な運営を維持・向上させるため、経営状況を的確に把握し、経営改善のための必要事項を検討・協議するために設立された病院長の諮問機関である。

当院を含め社会保険病院は、平成17年度まで生き残りをかけた、経営改善をせまられている。

実際に、平成13年度14億累積赤字から、平成14年度24億累積赤字へと、単年度で10億の赤字を出した社会保険都南総合病院は、今は無い。

当委員会でも、四半期ごとの経営状況の把握および、経営改善策を検討・協議している。

平成15年度からは、毎月二千万円の建物等更新費用の計上が義務付けられ、収益を大幅に圧迫しており、当院の経営も大変厳しいものとなっているのが、現状である。

平成14年度末時点で、56病院中、累積黒字上位の優良経営社会保険病院（診療所含）トップ5を以下にあげる。

1 社会保険徳山中央病院 (118億)

2 健康保険南海病院 (86億)

3 淀川(診療所) (38億)

4 四日市社会保険病院 (36億)

5 宇和島社会保険病院 (31億)

※ 当院は56病院中上から18番目である。

委員長 秦 温信
副委員長 関谷 千尋、井上 正俊、荒川美和子、
委員 三橋 公美、松岡 伸一、高橋 秀史、
宇加江 進、檜山 繁美、塩谷 勉、
高岡 和夫、小野 百合、竹林 武宏、
笠茂 光範、堀田 大介、安田 卓二、
大西 勝憲、竹本 功、佐々木智子、
増村 修、小嶋 裕美、尾田 和子、
小泉由貴美、藤井 厚子、晃昇とも子、
本山 博恵、村上 牧子、亀田すみ子、
木村 眞子、伊藤 律子、佐々木まり子、
野田 勝之、遠藤 裕明、斎藤 修一、
吉川 晶代、山谷 修司

(文責：山谷 修司)

禁煙推進委員会

平成12年1月1日より禁煙対策推進委員会より禁煙推進委員会に名称が変わっております。今年度世界禁煙デーにちなんで開かれた「札幌社会保険総合病院禁煙週間」行事として①市民公開フォーラム「みんなで健康をかちとるために」の公演は『未成年者に対する禁煙指導について』北海道上川保健所・大見 広規先生、『妊婦の禁煙対策について』当院産婦人科・笠茂 光範先生、『肺癌にならないために』北大地球環境科学研究科・井上 勝一助教授、『肺気腫(呼吸が苦しくなる病気)について』当院呼吸器科・高岡 和夫先生の4名の演者の先生に行っていただきました。②院内での「世界の禁煙ポスター展」の開催も例年通り行いました。③隔年に行われているアンケート調査も外来患者様、医師をはじめ

とする職員について行いました。

さらに特筆すべきは、日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会が日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部(佐野文男支部長)の主催でH16年2月7日(土)、2月8日(日)の2日間札幌市医師会館で開催されたことでした。実際のところ準備はほとんど当院で行いました。また、発表も佐野文男支部長の大会長講演を皮切りに、小児科宇加江先生、泌尿器科三橋、腎内安田先生の3名が行いました。今後も禁煙推進のために委員会をあげてがんばっていきます。

委員長 三橋 公美
副委員長 安田 卓二
委員 檜山 繁美、高岡 和夫、竹林 武宏、

西江 渉、堀田 大介、中島 信久、
高橋 秀史、宇加江 進、出村不三夫、
前島 澄子、藪野 孝、中川 幸恵、
田附 満、藤井 厚子、紺野 由美、
亀田すみ子、沖野 光代、村上 牧子、
永井由美子、南出 弘美、尾田 和子、

伊藤 律子、佐藤 理子、遠藤 裕明、
山谷 修司、福田真由美、佐藤 勇、
吉川 晶代、斉藤 孝樹、長野 雅子、
顧 問 秦 温信、荒川美和子

(文責：三橋 公美)

災害・救急委員会

この委員会は、院内・院外を問わず災害が発生した場合、当院の機能を通して速やかに対応するほか、災害に備えての職員教育、訓練を立案、実施することを目的として設置されております。

本年度の活動としては、災害・救急委員会を5月に行い、さらに救急小委員会で検討立案された「電氣的除細動器の使用方法及び気管直接穿刺法について」と題して院内職員研修会を開催し、実技指導を通して職員がいつでも救急患者に対応できるような研修を行いました。それに伴い直接穿刺セットが入っている救急カート全てに保管場所が分かるようにシールを貼りました。

9月1日の防災の日には、厚別区が主体となって大規模に行われた平成15年度札幌市総合防災訓練に地域の基幹病院として参加し、厚別消防署と協力しあって応急救護所の設置、負傷した地域住民に対してトリアージの実施、応急処置等の訓練を行ったことにより、参加した職員は特に災害に対する意識が高まったように思われます。

毎年2回義務付けられている消防訓練については、7月と11月に実施し避難訓練、救助袋・消火器の使

用方法なども修了しました。

また、夜間の救急患者に対応する方法として、2km以上に居住している職員のためにポールスターに待機用の部屋を準備してもらうように提言しました。

以上のように当委員会では災害や救急患者への対応を日々検討していますが、今後ともご協力よろしく申し上げます。

委員長 秦 温信

副委員長 竹林 武宏

委員 三橋 公美、大西 勝憲、松岡 伸一、
宇加江 進、堀田 大介、塩谷 勉、
竹本 功、佐々木智子、増村 修、
藤井厚子、亀田すみ子、佐々木まり子、
本山 博恵、村上 牧子、小嶋 裕美、
尾田 和子、伊藤 律子、小泉由貴美、
木村 眞子、晃昇とも子、井上 正俊、
野田 勝之、遠藤 裕明、齋藤 修一、
長谷川力男、江口 精一

顧 問 関谷 千尋、荒川美和子

(文責：江口 精一)

教育研修委員会

I. 学術集会

回	開催日	演題名／演者
1	4/16(水)	消化器科、リウマチ科、薬剤部、ME部、4西NS 『消化管原発悪性リンパ腫患者に対するチーム医療』 消化器科部長：檜山 繁美 リウマチ科部長：大西 勝憲 1. 悪性リンパ腫とはどんな病気 大西 勝憲（リウマチ科） 2. 消化管原発悪性リンパ腫の特徴－症例の呈示を含めて 檜山 繁美（消化器科） 3. 悪性リンパ腫に対する化学療法の実際 浅野 尚（薬剤部） 4. 末梢血幹細胞のアフェレーシス 真下 泰（ME部） 5. 高齢者胃悪性リンパ腫患者の看護 佐藤真紀枝（4西NS）
2	6/18(水)	循環器科、内科・糖尿病、検査部、リハビリテーション部、4西NS 『心血管疾患と糖尿病』－マルチリスクファクタ症候群－ 内科・糖尿病部長：小野 百合 循環器科部長：堀田 大介 1. 糖尿病を合併した心血管疾患の特徴 笹尾 寿貴（循環器科） 2. 糖尿病と動脈硬化 中村 昭伸（内科・糖尿病） 3. 糖尿病患者の動脈硬化所見－頸部エコー所見から－ 松崎 純子（検査部） 4. 心臓疾患のリハビリ 田附 満（リハビリテーション部） 5. 30才代で心筋梗塞を発症した糖尿病症例 佐藤 恵美（4西NS）
3	8/25(月)	泌尿器科、放射線科、西外来、薬剤部 I 『前立腺癌について』 泌尿器科部長：三橋 公美 放射線科部長：吉川 裕幸 1. 前立腺癌の診断と内分泌療法 片野 英典（泌尿器科） 2. 前立腺癌の画像診断 金子 明義（放射線科） 3. 前立腺癌患者の外来看護－症例を通して－ 岩本 千積（西外来） II 『海外研修報告』 薬剤部長：竹本 功 「外国への日本人研究者派遣事業」による海外研修報告 井藤 達也（薬剤部）
4	10/29(水)	リウマチ科、循環器科、検査部、薬剤部、4西NS 『SLEによる肺高血圧症患者に対するチーム医療とその成果』 リウマチ科部長：大西 勝憲 4西NS科長：小嶋 裕美 1. SLEによる肺高血圧症について 大西 勝憲（リウマチ科） 2. SLEに併発した肺高血圧症患者の看護 横山 純子（4西NS） 3. 肺高血圧症患者の心エコーおよび心電図の特徴 松崎 純子（検査部） 4. 肺高血圧症治療薬フロランの調節と薬剤指導 浅野 尚（薬剤部） 5. 肺高血圧症の分類とその治療、予後 堀田 大介（循環器科）
5	12/9(火)	呼吸器科、3東NS、リハビリテーション部 『呼吸器リハビリテーション』 呼吸器科部長：高岡 和夫 3東NS科長：佐々木まり子 1. 上手な呼吸法とは？ 高岡 和夫（呼吸器科） 2. 病棟での呼吸リハビリテーション 橋場 梢（3東NS） 3. 呼吸筋トレーニングを中心とした理学療法 田附 満（リハビリテーション部）
6	2/27(金)	産婦人科、3西NS、薬剤部 『子宮筋腫について－薬物を含めた治療と看護支援－』 産婦人科部長：笠茂 光範 3西NS係長：南出 弘美 1. 診断と治療 菊地 智春（産婦人科） 2. 薬物療法 志賀 隆博（薬剤部） 3. 看護支援 渡辺 恵（3西NS）

II. CPC

回	開催日	演題名/演者
1	5/27(火)	「被嚢性硬化性腹膜炎－腹膜透析の合併症－」 内科・腎臓病部長：安田 卓二 病理科部長：高橋 秀史 臨床経過 佐藤 恵 (内科・腎臓病医長) 看護経過 由本 恭子 (3 東 NS) 病理解剖所見 高橋 秀史 (病理科部長)
2	9/16(火)	「肝硬変による肝不全に肝細胞癌を合併した症例」 病理科部長：高橋 秀史 消化器科医長：石塚 淳 臨床経過 石塚 淳 (消化器科) 看護経過 小林いづみ (4 東 NS) 病理解剖所見 高橋 秀史 (病理科部長)
3	12/1(月)	「悪性リンパ腫治療中の突然死－剖検にて急性冠症候群による死亡」 リウマチ科部長：大西 勝憲 病理科部長：高橋 秀史 臨床経過 佐藤 睦美 (研修医) 看護経過 斉藤 優子 (4 西 NS) 病理解剖所見 高橋 秀史 (病理科部長)
4	1/26(月)	「長期生存の進行肝細胞癌症例」 外科部長：松岡 伸一 病理科部長：高橋 秀史 臨床経過 松岡 伸一 (外科部長) 看護経過 中川恵里子 (5 西 NS) 病理解剖所見 高橋 秀史 (病理科部長)
5	3/22(月)	「肺癌の術後再発症例－本人の意志による病理解剖」 呼吸器科部長：高岡 和夫 病理科部長：高橋 秀史 臨床経過 高岡 和夫 (呼吸器科部長) 看護経過 濱井 由似 (3 東 NS) 病理解剖所見 高橋 秀史 (病理科部長)

III. 職員研修

回	開催日	研修内容
1	4/2(水)	「接遇」 事務局長：渋谷 忠臣 －今、患者さんが求めているもの－ 中村 和子氏 (㈱丸中物産代表取締役・北海道健康づくりアドバイザー (知事委嘱))
2	4/24(木)	「より安全な医療をめざして」－医療安全強化月間にちなんで－ MSM 委員会委員長：竹林 武宏 1. インシデント・アクシデントレポートの重要性について 小泉由貴美 (MSM委員会マネージャー) 2. 医師の立場から 佐藤 恵 (MSM委員会委員) 3. 看護師の立場から 木村 眞子 (MSM委員会委員)
3	5/26(月)	「電氣的除細動器の使用方法及び気管直接穿刺法について」 循環器科部長：堀田 大介 1. 電氣的除細動の適応と BasicLifesupport における自動的電氣除細動器の役割 笹尾 寿貴 (循環器科) 2. 院内における電氣的除細動器の機種と使用方法 真下 泰 (ME 部) 3. 気道閉塞における気管直接穿刺法に関して 高岡 和夫 (呼吸器科部長) 4. 電氣的除細動器の実際 (実践) 尾形 仁子 (循環器科) 小嶋 裕美 (4 西 NS 科長) 真下 泰 (ME 部)

回	開催日	研修内容
4	7/23(水)	副院長：関谷 千尋 診断群別 (DPC) 調査協力について 佐藤 正幸 (医療情報管理室)
5	10/1(水)	「外来満足度調査の結果から」－問題点と対策－ TQM 委員会委員長：荒川美和子 1. 看護局 接遇の現状と対策 －気配り・目配り～そして心配り～ 紺野 由実 (看護局) 2. 満足度100%をめざして 出村不三夫 (検査部) 3. 患者さんのハートの透視診断 －診療放射線技師について解答のあった586件の傾向と対策について－ 藪野 孝 (放射線部) 4. 「マナー」アンケート調査結果の患者様の声を基に 江口美恵子 (事務局) 5. 医師に関する患者満足度アンケート調査の結果 小野 百合 (医務局) 6. まとめ 総合評価結果－前回調査から6～16%アップ－ 藤井 厚子 (TQM 外来小委員会)
臨時	10/9(木)	呼吸器科部長：高岡 和夫 「インフルエンザ勉強会」 市原謙一郎 (化血研(財)化学及血清療法研究所)
6	10/23(木)	緩和医療小委員会委員長：高岡 和夫 「緩和医療とリハビリテーション」 安部能成 (千葉県がんセンター整形外科)
7	10/31(木)	ストマー褥瘡小委員会委員長：三橋 公美 「褥瘡の予防と治療」ここが知りたい褥瘡ケア－予防から治療まで－ 西出 薫 (スミス・アンド・ネフュー(株)ウインドマネージメント事業部学術推進課ETナース)
8	11/28(金)	平成15年度医療安全推進週間研修会 「当院のインシデント・アクシデントレポートの分析とその対応」 安全管理委員会委員長：竹林 武宏 ワーキンググループ報告 【転倒・転落ワーキンググループ】 村上 牧子 (安全管理委員) 【注射ワーキンググループ】 堀田 大介 (安全管理委員) 【内服薬ワーキンググループ】 小泉由貴美 (安全管理者)
9	12/11(木)	第41回日本社会保険医学会学会賞受賞記念講演会 禁煙推進委員会委員長：三橋 公美 I 受賞講演「院内・敷地内全面禁煙の取り組みにおける事務局職員の役割」 江口 精一 (庶務課係長) II 特別講演「上手な禁煙のすすめ方」 松崎 道幸 (深川市立総合病院 内科主任医長 日本禁煙推進医師歯科医師連盟 北海道支部幹事)
10	1/19(月)	I 海外研修報告 副院長：荒川美和子 「オーストラリア看護管理・地域看護研修」 木村 眞子 (看護科長) II 輸血セミナー「血液製剤の安全な使用」－あなたの輸血業務大丈夫？－ 検査部長(病理部長)：高橋 秀史 検査部技師長：佐々木智子 1 血液製剤の取り扱い 葛間 一裕 (血液センター医薬情報課) 2 血液製剤の適及調査について 深井 寛治 (血液センター医薬情報課) 3 当院の輸血マニュアルについて 佐々木智子 (検査部技師長) 4 輸血副作用対策 大西 勝憲 (リウマチ科部長)

回	開催日	研修内容
11	1/29(木)	<p>事務局長：井上 正俊</p> <p>『年金制度の仕組みについて』</p> <p>木津 正昭 (全社連厚生年金基金常務理事)</p>
12	3/2(火)	<p>放射線科部長：吉川 裕幸</p> <p>『16列マルチスライス CT (Aquilion16) の有用性について』</p> <p>森 淳一 (東芝メディカルシステムズ(株) 営業技術部 CT 担当)</p>
13	3/5(金)	<p>『DPC 研修会』</p> <p>事務局長：井上 正俊</p> <p>1 DPC 試行的適用について 2 診断群分類と問題点 3 包括評価制度について</p> <p>遠藤 裕明 (庶務課長兼医事課長) 佐藤 正幸 (医療情報室室長補佐) 梶原 陵子 (医事課長補佐)</p>